

編集後記

わたしたちが今年度の研究会の運営をお引きうけしてから、早いものですでに1年の4分の3がすぎ、論集も3号をお送りする運びとなった。玉稿をおよせいただいた方々に厚くお礼申しあげる。

ところで今年は多年にわたるベトナム戦争にどうやら終止符がうたれたが、インドシナ3国の不安な状態はなかなかおさまりそうもなく、その上タイの軍事政権までが学生のたちあがりによって、あっけなく崩壊してしまった。そればかりでなく、中東にはアラブ諸国とイスラエルとの間にまたしても戦争がおこり、アラブ諸国はその対策の一環として、アメリカをはじめとするイスラエルを支持する国々に対して、石油供給の削減を強行するにいたった。石油の80%を中東に依存するといわれるE.C.諸国にとっては、この措置は大変な打撃であろうが、国際政治においてアメリカと行をともにしてきた日本の場合も同様であり、石油のほとんどを中東、その他の諸外国に依存しなければならない日本にとっては、エネルギー問題はいよいよ深刻とならざるをえないであろう。今年はどうやら寒い冬になりそうである。会員の皆様の御自愛をお祈りする次第である。

(H. O. 生)

流通経済論集 Vol. 8, No. 3 (通巻第28号)

昭和48年12月25日発行

非 売 品

編集兼発行所

流通経済大学学術研究会
茨城県竜ヶ崎市字平畑120番地
電話 竜ヶ崎 (02976-2) 3251 (代表)
財団法人 東京大学出版会
東京都文京区本郷7丁目3番地の1 東大構内
電話 東京 (03-811) 4281

製 作 所